

人狼ゲーム

人数	4～20人（5人以上がおススメです）
対象年齢	10歳以上
プレイ時間	10～50分
用具	<p>人狼 DX カード 28 枚／役職一覧カード 4 枚／説明書／司会進行表【カード内容】人狼 4 枚、市民 9 枚、予言者 2 枚、ボディーガード 2 枚、霊媒師 2 枚、裏切り者 2 枚、ハンター 1 枚、共有者 1 枚、タフガイ 1 枚、独裁者 1 枚、妖狐 1 枚、ホワイトカード(予備) 1 枚</p> <p>※メモ用紙、書くものがあると便利です</p> 
遊び方	<p>ここはとある田舎町。この町には、人間に紛れて人狼が潜んでいます。人狼は、毎晩目を覚まして、人間を 1 人ずつ襲い、町を征服しようと狙っています。町を守るためには、人間になりすましている人狼を見つけ出し、追放しなければなりません。</p> <p>・基本ルール</p> <p>『人狼(じんろう)』とは、市民チームと人狼チームの 2 つに分かれたプレイヤー達が、それぞれのチームの勝利を目指して戦うゲームです。ゲームの最初に、役職がプレイヤーにランダムに割り振られますが、その役職は、自分だけしか見ることができません。そのため、議論を通じて相手を信用すること又は疑うことによって、自分たちのチームの勝利を目指していくことになります。</p>

・ゲームの準備

①まずは司会者を決めます。

司会者は、人狼チームでも市民チームでもなく、ゲームの進行を務めます。司会者は誰がどのカードを持っているか知ることができます。

②司会者はカードをプレイヤーに1枚ずつ配ります（人狼は必ず1枚は入れてください）プレイヤーは他の人に見られないように自分の役職を確認して、カードを伏せます。

③司会者はプレイヤー全員を見渡せる位置に移動して、ハンドサイン（例）「親指を上にならたら市民、下に向けたら人狼」や、「ピースサインは市民、狐のサインは人狼」などのゲームに関する決まり事を確認します。確認を終えたら、ゲームを開始します。

※ハンドサイン：司会者が予言者・霊媒者に情報を伝えるためのジェスチャーです

・ゲームの進め方

人狼ゲームは、夜のターンと昼のターンから構成されます。

■昼のターンは、誰が人狼かを探するための議論を行う時間です。市民チームは会話・反応・表情などから司会者が指定した時間の中で、誰が人狼かを議論して追放する人を投票で決めましょう。

※追放されたプレイヤーは脱落となりゲームに参加できなくなります。人狼カードを持っている人は自分の正体がばれないように、話術を駆使して応戦しましょう。



■夜のターンは、**人狼**と**市民チームの能力者**（能力者については後ほど説明します）が行動することができる時間です。基本的に、夜の時間では顔を伏せ、目をつぶり、声を発してはいけません。司会者の指示に従い、「人狼の人はそっと目を開けてください」と言われたら人狼カードを持っている人は顔をあげ、襲う市民を指差し等で司会者に伝えます。行動が終わったら顔を伏せましょう。



夜のターンの行動が全て終わった後、司会者から襲撃された人が発表され、そのプレイヤーは脱落します。
※脱落したプレイヤーは一切参加できなくなります。

・勝敗

襲撃を続けて人狼と同数まで人間を減らすことができれば、**人狼チームの勝利**です。自分の正体がばれないように、話術を駆使して応戦しましょう。その前にすべての人狼が追放することができれば、**市民チームの勝利**です。



市民チームの中には、非常に強力な能力を持った役職もいます。人狼でよく使われる4つのカードについて説明します。

・予言者（市民チーム）



予言者は、夜のターンで司会者の合図で目を覚まし、疑っている人物が人狼かそれとも人狼ではないかを司会者に聞くことができます。（司会者はハンドサインで人狼かそうでないかを教えます。）予言者は、人狼を見つける大きな手掛かりを持っている役職であるため、非常に重要な役職となります。予言者は、占った人物の役職までは知ることまではできず、あくまで人狼かそうでないかという点だけしか判別できないという点に注意が必要です。

・ボディーガード（市民チーム）



ボディーガードは、夜のターンで司会者の合図で目を覚まし、毎晩誰か一人を選んで護衛することで、そのプレイヤーを人狼の襲撃から守ることができる能力を持つ役職です。ただし、自分自身を守ることができず、かつ、連続して前日と同じプレイヤーを守ることはできません。そのため、人狼の心理を読み、上手く護衛することが大事なるため、推理力と考察力が要される役職です。

・霊媒師（市民チーム）



霊媒師は、夜のターンで司会者の合図で目を覚まし、その前日に処刑されたプレイヤーが人狼だったか人狼ではないかを司会者から教えてもらうことができる役職です。（司会者はハンドサインで教えます。）霊媒師は、残りの人狼の数を把握することができるため、情報を多く持つことができます。

・裏切り者（人狼チーム）



裏切り者は、人間であるにもかかわらず**人狼チームに属する役職**です。この役職は、通常の村人と同じく能力はなく、予言者に占われたとしても市民チームであるという結果が出ます。しかし、人狼の勝利が自らの勝利になるため、議論を混乱させる発言をして、**人狼が優位になるような行動を行うことが重要**となります。基本役職の中では、最も難しい役職であり深い思考が要されます。

・人数によるおすすめの数合わせ（基本セット）

下記を参考にしながら、プレイ人数やレベルにあわせて組み合わせを選択してください。ゲームになれていない場合は、人狼、市民、予言者、ボディーガードを中心として、複雑な役職は使用しないことをおすすめします。ゲームになれて来たら、下記以外の複雑な役職も取り入れてみましょう。

	人狼	市民	予言者	ボディーガード	霊媒師	裏切り者	司会者
4人	1	3					兼任
5人	1	2	1				1
6人	1	3	1				1
7人	2	2	1	1			1
8人	2	3	1	1			1
9人	2	3	1	1		1	1
10人	2	4	1	1		1	1
11人	2	4	1	1	1	1	1
12人	3	4	1	1	1	1	1
13人	3	5	1	1	1	1	1
14人	3	6	1	1	1	1	1



人間になりすましている狼は誰だ!?
プレイ人数やレベルに合わせて幅広く遊べる“デラックス版”

対象年齢:10歳以上
 対象人数:4~20人
 プレイ時間:10~50分

正体を隠して紛れ込む「人狼」vs言動から人狼を暴き出す「人間」のチーム戦。
 誰が味方で誰が敵か、最後に残るのは人間か人狼か……。
 心理的な駆け引きを楽しむ壮絶なトークバトル!

推理深まる
**全11種
 28枚**

遊び方
 「昼」と「夜」のターンを繰り返します。
 「昼」は全プレイヤーで議論をして、会話や表情から人間になりすましている人狼を推理。疑わしい人物を多数決で1人追放します。「夜」になると全プレイヤーが目を閉じます。人狼はこっそり目を覚まし、人間を1人襲撃します。すべての人狼を追放できれば市民チームの勝利、人間を人狼と同じ数まで減らせられれば人狼チームの勝利です。

●入っているもの
 カード28枚 / 役職一覧カード4枚
 説明書 / 司会進行表

[カード内容]
 人狼-4枚 ハンター-1枚
 市民-9枚 共有者-2枚
 予言者-2枚 タフガイ-1枚
 ボディーガード-2枚 独裁者-1枚
 霊媒師-2枚 妖狐-1枚
 裏切り者-2枚 ホワイトカード(予備)-1枚

製品の一部分あるいは全部を無断で複製・複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。製品につきましては、万全の注意を払っておりますが、万一不良品等の品がご届きましたら、弊社までご連絡下さい。説明小冊子にてお詫言いたします。

**会話型心理ゲーム
 人狼 (JIN-ROU) DX**

株式会社 幻冬舎
 〒151-0051
 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7
 電話 03(5411)6215

監修 株式会社人狼
 イラストレーション 上田パロン
 デザイン OCTAVE
 制作 図書印刷株式会社

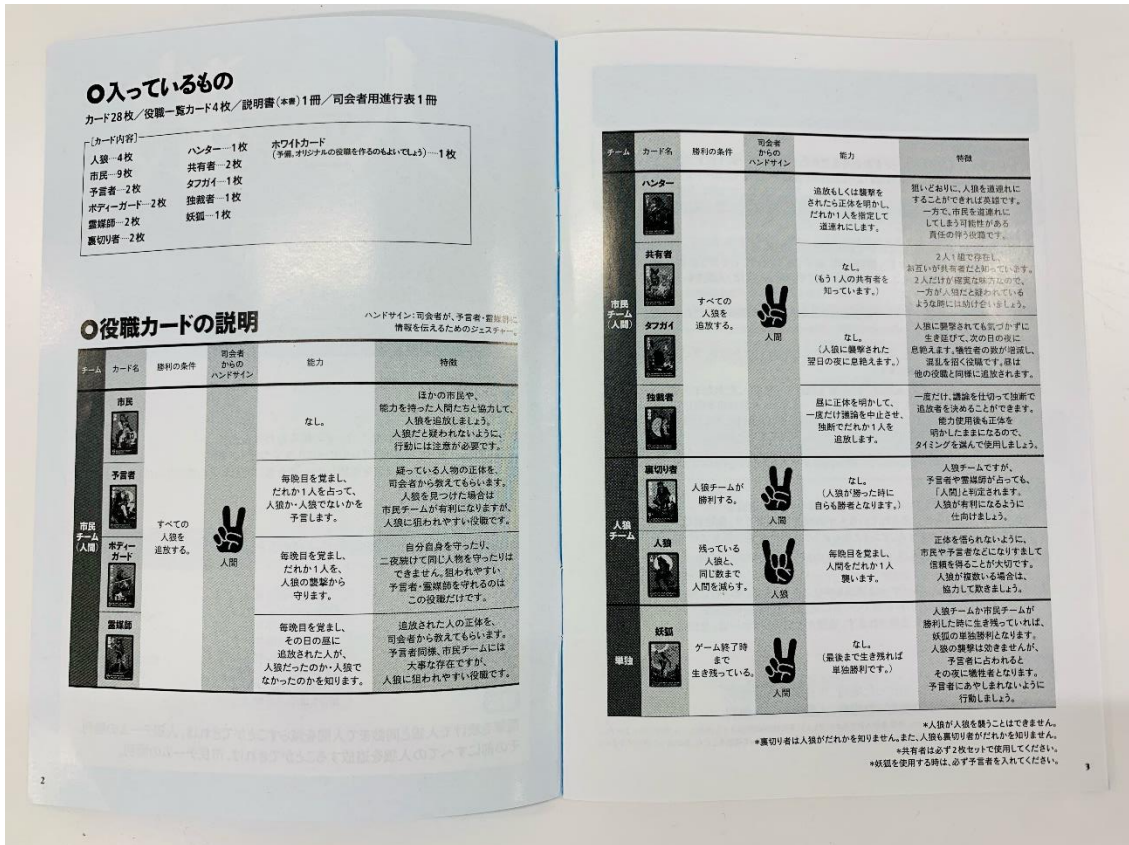
©INBAWU, INC., BARON UEDA, GENTOSHA, 2015
 Printed in Japan
<http://www.gentosha-edu.co.jp/>

注意
 ●誤飲の危険がありますので、保護者のもとで遊ばせてください。
 ●おついたり、ふりまわすなどの乱暴な遊びはしないでください。
 ●カードのこぼれ、ふちで指をいためる場合がありますので気をつけてください。

ご意見、ご感想をメールで
 お寄せいただく場合は、
info@gentosha-edu.co.jpまで、

商品紹介動画

150



●ゲームの進行『5人以上』

- ①まずは司会者を決めます。（司会者はメモと筆記用具があると便利です）
- ②今回のゲームに使用するカードの組み合わせを決めて、プレイヤーに1枚ずつ配ります。（初めての方はおすすめの組み合わせの表を参考にしてください）
- プレイヤーは他の人に見られないように自分の役職を確認して、カードを伏せます。

司会者用台本

- ・『夜が更けました。みなさん目を閉じてください。これから役職確認を行います』

（全員が目を閉じたことを確認する）

- ・『〇〇の役職の人はそっと目を開けてください』

（ボディガード→人狼→予言者→霊媒師→裏切り者の順で確認を行う）

（司会者は誰がどの役職かを確認する。忘れそうな場合はメモをとる。確認ができたから『目を閉じて下さいと伝える』）

※市民の確認は行わない（目をあけなかった人が市民）。

■最初は  昼  からスタート

- ・『朝になりました。みなさん目を開けてください。それでは、議論をして町に紛れ込んだ人狼を見つけ出してください。議論の時間は0分です。0分が経過したら議論を終了して投票を行い、今日追放するプレイヤーを1人決定します。それでは、議論をスタートしてください。』

（携帯電話などのタイマーを利用し、議論の時間を設定し開始する。時間はプレイ人数に応じて調整する。3分前後が一般的。）

ヒント！議論の間では、自分の役職名を明かしてもよいし嘘をついてもよい。

- ・『時間になりました。議論を終了してください。それでは、今日追放するプレイヤーを決定します。それぞれ、人狼だと思える人を一斉に指差してください。せーの』

（最多票の人が追放となる。最多票が複数人いた場合その人達だけを対象に再投票する）

『今回、追放されたのは〇〇さんです。〇〇さんは今後、議論には一切参加できません。ゲームの成り行きを密かに楽しんで下さい』

(追放されたプレイヤーのカードは伏せたままで、役職名は明かされない)

■ ♪夜のターン♪

『夜が更けました。みなさん目を閉じて下さい。』

(以降、役職毎の台詞が続くため、居ない役職はとばす)

すでに該当役職の人が追放・襲撃されていても、まだそこにいるように呼び出しプレイヤーにバレないように演じる

・『**ボディーガード**の人は、そっと目を開けてください。ボディーガードは、今夜守りたいプレイヤーを1人選んでください。ただし自分自身を守ったり、二夜続けて同じ人物を守ったりすることはできません』

(指さして選んでもらう。確認したら) 『目を閉じてください』

・『**人狼**の人は、そっと目を開けてください。人狼は、今夜襲撃したいプレイヤーを1人選んでください。』

(指さして選んでもらう。確認したら) 『目を閉じてください』

・『**予言者**の人は、そっと目を開けてください。予言者は、今夜予言したいプレイヤーを1人選んでください。』

(指差して選んでもらう) 『その人は、この役職です(ハンドサインで伝える)』

(確認が終わったら) 『目を閉じてください』

※裏切り者は人狼チームだが市民にカウントされるため、人狼ではないというハンドサインを行う

- ・『**霊媒師**の人は、そっと目を開けてください。今日の昼間に追放された人はこの役職でした』

(ハンドサインで伝える。その後『目を閉じて下さい』と伝える)

■ 昼のターン



- ・『朝になりました。みなさん目を開けてください』
- ・『昨晚の犠牲者は〇〇さんでした。〇〇さんは今後会議などに参加できません』

※(ボディーガードの守りが成功し夜の犠牲者がいなかった場合は『昨晚の犠牲者はいませんでした』)

- ・『それでは、再び議論して人狼を見つけだしてください。議論の時間は〇分です。〇分が経過したら議論を終了して投票を行い、今日追放するプレイヤーを1人決定します。それでは、議論をスタートしてください』

(議論時間が終了したら)

- ・『時間になりました。議論を終了してください。それでは、今日追放するプレイヤーを決定します。それぞれ人狼だと思える人を一斉に指さしてください。せーの』
- ・『今回、追放されたのは〇〇さんです。〇〇さんは今後、議論などに参加できません。ゲームの成り行きを密かに楽しんでください』

以降、ゲームの決着が着くまで「 夜のターン」→「 昼のターン」をくりかえす

■勝敗

ゲームがいずれかの状況になったら、司会者はゲームの終了を宣言する。

ゲーム終了の告知は、プレイヤー全員が目を覚ましている昼のターンに行う。

市民チームの勝利条件：すべての人狼を追放した時

『人狼は全員追放されました。市民チームの勝利です！』

※裏切り者は人狼チームだが人間としてカウントされる。しかし市民チームが勝利しても裏切り者は敗北となる。

人狼チームの勝利条件：残っている人間の数が、残っている人狼と同数になった時。

『人狼の襲撃により町は滅びました。人狼チームの勝利です！』

※裏切り者は人狼チームだが人間としてカウントされる。しかし人狼チームが勝利したら裏切り者も勝利となる。